

LARC

ロールスクリーン ラルク

ホームタコス

取扱説明書 兼 無償修理規定

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用になる前に、この説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に大切に保管してください。

販売店様へ

製品を販売店様でお取付けになられた場合は、
この取扱説明書 兼 無償修理規定はご使用になられるお客様へお渡しください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

この「取扱説明書」では、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

- 表示内容を見逃し誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

	警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結び付く可能性が想定される内容を示しています。
	注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋、家財などの損害に結び付く可能性が想定される内容を示しています。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	してはいけない禁止の行為です。
	必ず実行していただく強制の行為です。

ご使用になる前にお読みください

警告

-  火のそばではご使用にならないでください。製品が溶けたり、燃えたりして危険です。
-  浴室や風雨にさらされる場所など、湿気の多い場所ではご使用できません。感電、火災、故障、変形の恐れがあります。
-  分解や改造をしないでください。感電や火災、けがの原因となることがあります。
-  交流 100 V 以外では使用しないでください。感電、火災の原因となります。
-  電源コードを傷付ける、加工する、無理に曲げる、引っばる、ねじる、束ねて通電させる、高温部に近づける、重いものを載せる、挟み込むなどしないでください。感電、ショート、発火の原因になります。
-  電源プラグをぬれた手で抜き差ししないでください。感電やけがをすることがあります。

安全上のご注意 (必ずお守りください)

ご使用になる前にお読みください



警告

- ⊘ 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントへの差し込みがゆるいときは、使用しないでください。感電、ショート、発火の原因になります。
- ❗ 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っばらないで必ず電源プラグを持って抜いてください。感電、ショート、発火の原因になります。
- ❗ 電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込んでください。感電、ショート、火災の原因となります。
- ❗ 電源プラグの刃は定期的に乾いた布で拭いてください。ほこりがたまると湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。
- ❗ お手入れの際には必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ❗ 長時間ご使用にならないときは、必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。
- ⊘ 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池、銘柄や種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれによる火災、けがや周囲を破損する原因となります。
- ⊘ 電池を加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液漏れによる火災、けがの原因となります。
- ⊘ 乾電池は充電しないでください。電池の破損、液漏れにより、火災、けがの原因となります。
- ❗ 電池を使用する場合、極性表示（プラス+とマイナス-の向き）に注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液漏れによる火災、けがや周囲を破損する原因となります。

安全上のご注意 (必ずお守りください)

ご使用になる前にお読みください



注意

- ❌ 製品にぶら下がったり、無理に引っばったりしないでください。また、製品にものを掛けたりして、無理な力をかけないでください。製品が破損したり、落下によりけがをすることがあります。
- ❌ 製品の動く範囲内に動きを妨げるものや、壊れやすいものを置かないでください。製品や置いたものが破損することがあります。
- ❌ 風の強い時には製品を降ろしたまま窓を開けないでください。製品の破損や思わぬ事故につながる可能性があります。
- ❗ 使い切った電池はリモコンからすぐに取外してください。使い切った電池を長い間、リモコンの中に放置すると液漏れなどを起こし、故障の原因となります。

ご使用になる前にお読みください



警告

- ❗ 製品重量に耐えられる下地に取付けてください。



注意

- ❌ 付属の取付けビスは木部用です。木部以外への取付けにはご使用にならないでください。木部以外への取付けは専用のビス、アンカー等をご使用ください。
- ❗ 本体取付け時には、取付けブラケットに本体が確実に固定されていることを確認してください。確実に固定されていないと製品が落下することがあります。

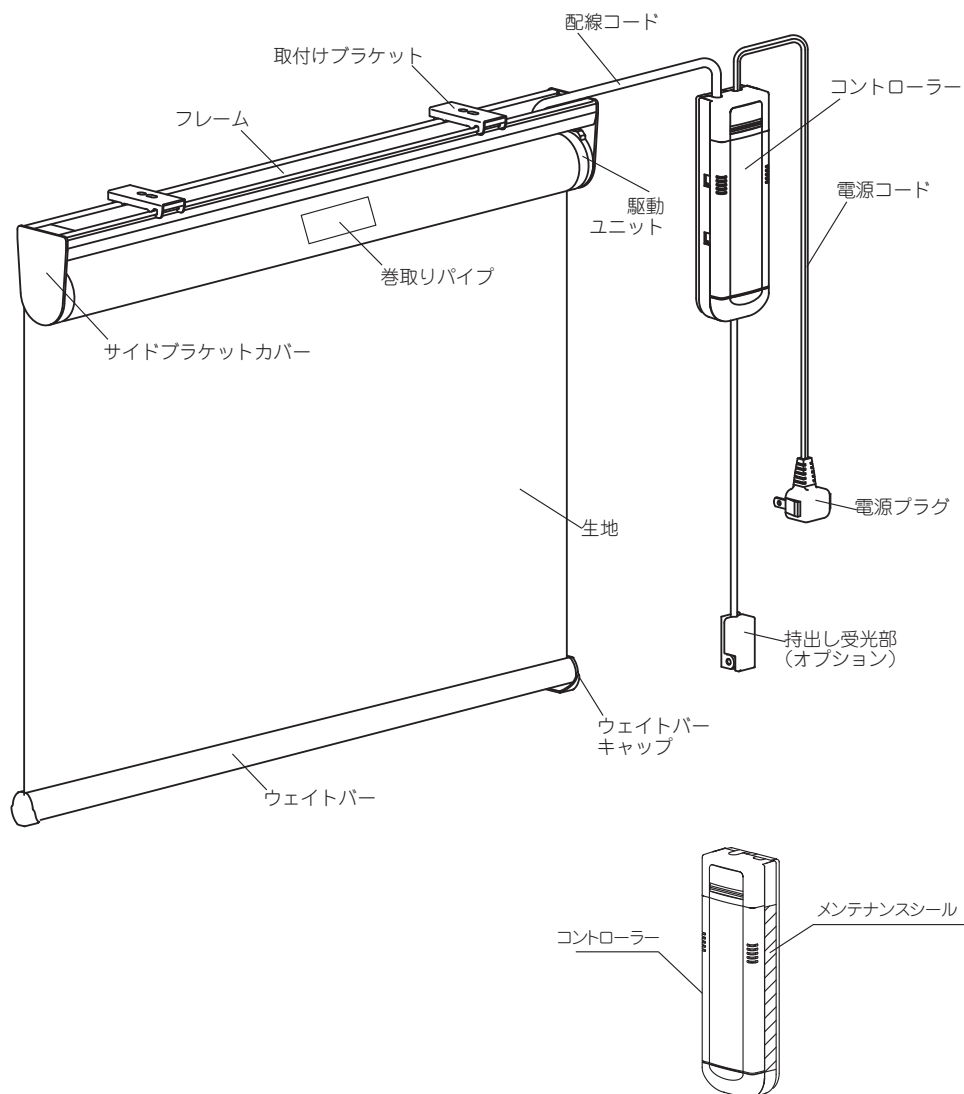
使用環境上のご注意 (必ずお守りください)



注意

- ⊘ この製品は屋内用として作られたものです。屋外ではご使用できません。
- ⊘ 蒸気等の充満する浴室等ではご使用できません。サビなどの発生により製品の機能低下、または不具合発生の原因となります。
- ⊘ 水気のかかる場所、結露に触れるような場所ではご使用にならないでください。生地にシミなどが発生することがあります。
- ⊘ 窓を開けての直射日光を生地に当てないでください。生地が極端に退色、変色することがあります。

各部の名称

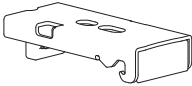
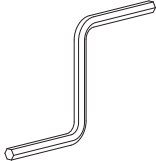


取付ける製品が複数台ある場合は、必ず製品
本体ウェイトバー裏のメンテナンスシールと
コントローラー側面のメンテナンスシールの
明細が同じものを組み合わせてください。

付属品

(施工する前にまず付属品をご確認ください)

本体付属品

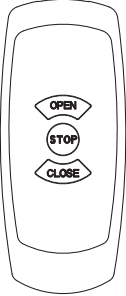
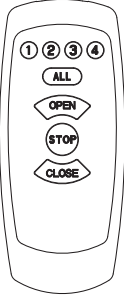
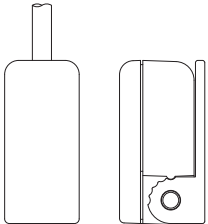
製品幅	部品名	取付けブラケット	ブラケット取付用ビス	ワイヤーランプ	六角レンチ
					
		2個	4本	3個	1本※
		3個	6本	3個	1本※

部品名	コントローラ	電源コード
	 コントローラ本体×1個  ステー×1枚  ビス×2本	
	数量	1セット
		1本

巻きずれ調整用シール	1枚
------------	----

※ウォッシュابل生地の場合にのみ、六角レンチ(1本)が付属されます。

オプション部品

部品名	シングルリモコン	アドレスリモコン	持出し受光部
			
	単 4 乾電池× 2 本 リモコンホルダー× 1 個 取付けビス (木部用) × 2 本		取付けビス× 1 本 (木部用)

製品の取付けかた (安全のため、コンセントを抜いた状態でおこなってください)

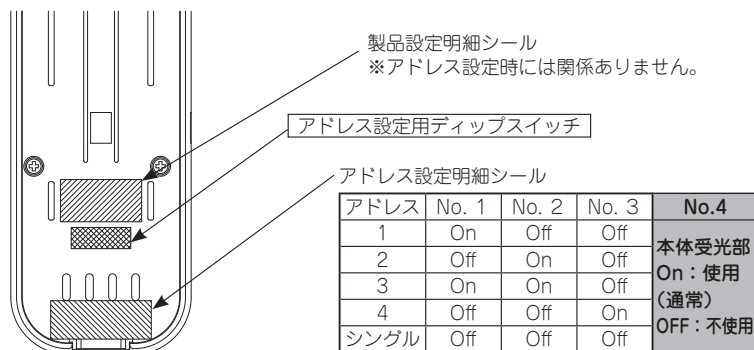
初期設定(アドレス設定)

※アドレスリモコンご使用の場合のみ(シングルリモコンご使用の場合は不要です)
アドレスリモコンをご使用の場合は、製品ごとにアドレスの設定が必要となります。
アドレスを設定することにより4台(または4グループ)までの製品を個別操作または一斉操作することができます。

<設定方法>

アドレス設定はコントローラ裏面にある6つのディップスイッチで設定します。アドレス設定明細シールに従い、No.1～3のディップスイッチを設定してください。

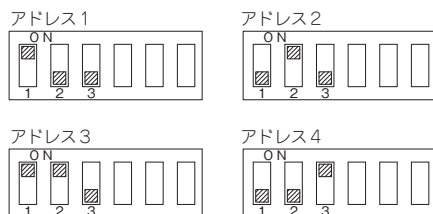
注) No.4～6は工場出荷時に設定済みです。アドレス設定時には動かさないでください。
製品の故障の原因となります。



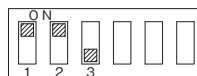
参考) アドレスごとのディップスイッチの設定

ディップスイッチNo.1～3で設定します。

注) ディップスイッチNo.4～6は動かさないでください。



例) ある製品を「アドレス3」として設定したい場合は、ディップスイッチNo.1と2を「ON」に、No.3は「OFF」の状態にします。



※初期設定は必ず電源プラグをコンセントに差し込む前におこなってください。

電源投入(電源プラグをコンセントに差した)後に設定すると正常に動作しない場合があります。

製品の取付けかた (安全のため、コンセントを抜いた状態でおこなってください)

製品本体の取付け

必要な工具：プラスドライバー・巻尺（スケール）

1) 製品の確認

製品の変形、破損、付属品の不足等がないことを確認してください。異常がある場合は取付けできませんので、お買上げいただいた販売店、最寄りの弊社支店までご連絡ください。

2) 取付け下地の確認

- ・製品に付属しているビスは木部用です。木部以外への取付けには使用しないでください。
- ・木部に取付けるときは、厚さが10mm以上であることを確認してください。
- ・木部以外の下地に取付けるときは、その下地に応じたビス、アンカー等をご使用ください。
- ・取付け部が水平になっているか確認してください。
- ・製品の動く範囲内に障害物がないか確認してください。

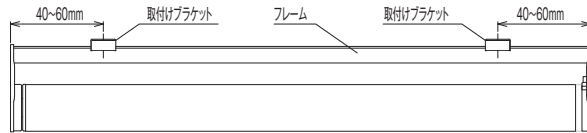
3) 取付けブラケットの取付け

取付けブラケットの取付けかたには、天井付けと正面付けがあります。

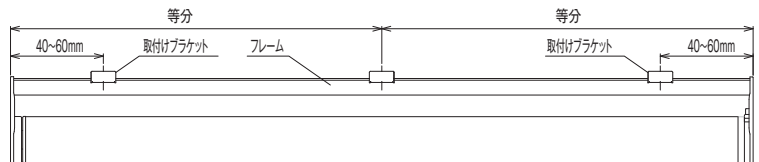
①取付けブラケットの取付け位置を決めてください。

- ・取付けブラケットの位置は、製品端部より40mm～60mm離れた位置にくるように決めてください。
- ・製品幅1510mm以上の場合は、中央部にも取付けブラケットが付きます。両端の取付けブラケットと必ず一直線上になるように位置を決めてください。

製品幅：1500mm以下
(ブラケット2個)



製品幅：1510mm以上
(ブラケット3個)



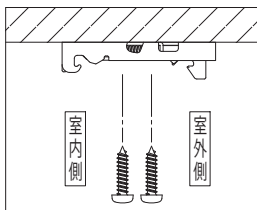
注) 正面付けの場合は、取付け高さをそろえてください。

製品の取付けかた (安全のため、コンセントを抜いた状態でお願いします)

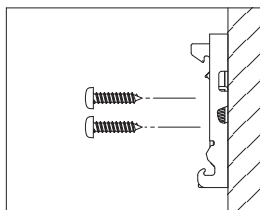
- ②取付けブラケットを付属のビスで固定してください。

・取付けブラケットが水平になる(ブラケットの高さがそろう)ように注意しながら、付属のビスで固定してください。

●天井付け (窓枠内に取付ける場合)



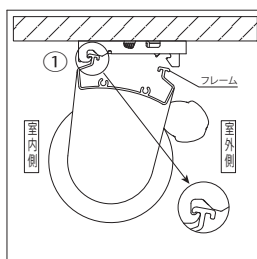
●正面付け (窓枠を覆う場合)



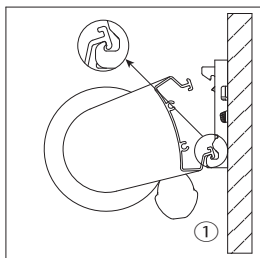
4) 製品の取付け

- ①製品本体を両手で持ち、取付けブラケットの手前のツメにフレームを引掛けてください。天井付けはフレームの手前から、正面付けはフレームの下から引掛けてください。

●天井付け



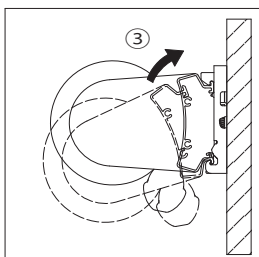
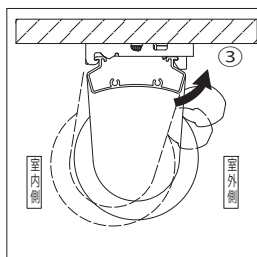
●正面付けの場合



- ②フレームをブラケットのツメに引掛けた状態で、左右のバランスを見て位置を決めてください。



- ③フレームを矢印の方向にもっていき、「カチッ」と音がするまで押し上げてください。

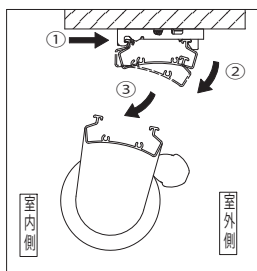


- ④すべての取付けブラケットに確実に固定されていることを必ず確認してください。

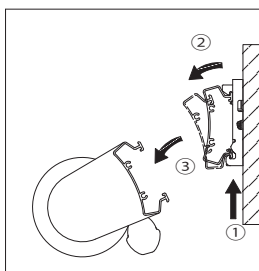
製品本体の取外し

- ①取付けブラケットのスライドブロックを指で押し込みながら、
②フレームを矢印の方向に引き、
③取付けブラケットのツメから製品本体を取外してください。

●天井付け



●正面付けの場合



製品の取付けかた (安全のため、コンセントを抜いた状態でおこなってください)

コントローラの取付け

＜コントローラの取付け場所について＞

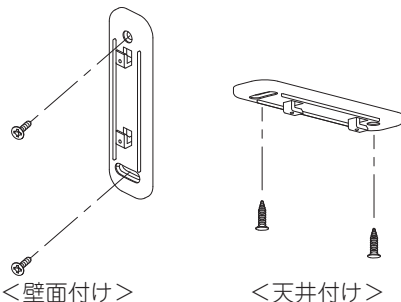
- ・ リモコンからの信号を受信できる位置に取付けてください。
- ・ 製品が動く範囲内には取付けないでください。
- ・ リモコンの信号には赤外線を使用していますので、下記のような「赤外線が強くあたる場所」には取付けないでください

- ① 直射日光のあたる場所や、直接あたらずとも光が反射して眩しい場所
- ② 白熱灯、ヒーターや暖房機器など高熱を発する機器の近く
- ③ 蛍光灯など照明機器の近く
- ④ ホームセキュリティなどのセンサー用赤外線が照射されている領域

1) ステー（取付けプレート）の取付け

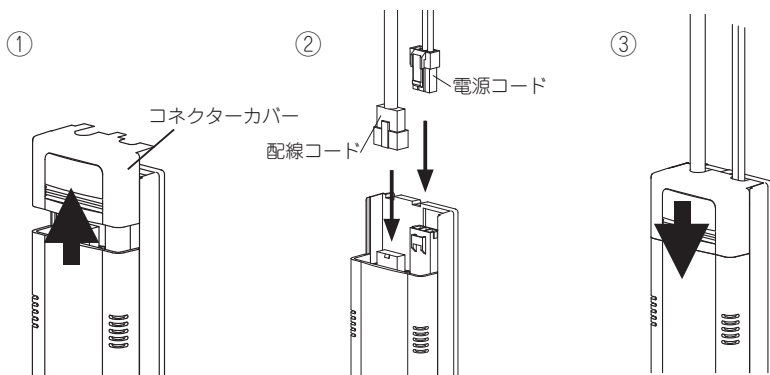
任意の位置にステー（取付けプレート）を付属のビスで壁面等に固定してください。

※付属のビスは木部用です。木部以外への取付けにはご使用にならないでください。木部以外の下地に取付けるときは、その下地に応じたビス、アンカー等をご使用ください。

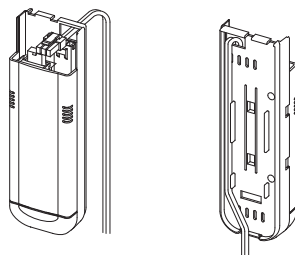


2) 本体からの配線コードおよび電源コードをコントローラと接続してください。

- ① コネクターカバーを外してください。
- ② 配線コード、電源コードを接続してください。
- ③ コネクターカバーを戻してください。

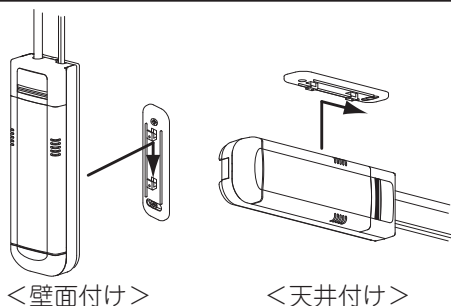


※電源コードをコントローラの下へ誘導するときは、コントローラ背面の窓よりコネクターを通し、コントローラと接続してください。



製品の取付けかた

- 3) コントローラをステー（取付けプレート）に固定してください。



- 4) 付属のワイヤークランプを使って、電源コードを製品の動きを妨げないように固定してください。

- 5) 電源プラグをコンセントに差し込んでください。

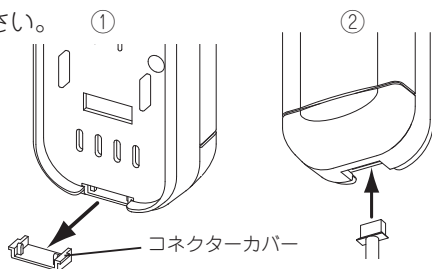
持出し受光部（オプション）の取付け

<持出し受光部の取付け場所について>

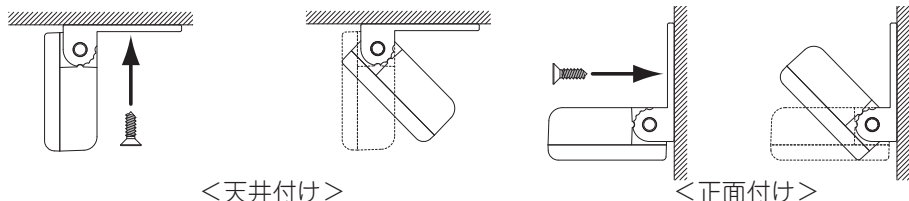
- ・ リモコンからの信号を受信できる位置に取付けてください。
- ・ 製品が動く範囲内には取付けないでください。
- ・ リモコンの信号には赤外線を使用していますので、下記のような「赤外線が強くあたる場所」には取付けないでください。
 - ① 直射日光のあたる場所や、直接あたらずとも光が反射して眩しい場所
 - ② 白熱灯、ヒーターや暖房機器など高熱を発する機器の近く
 - ③ 蛍光灯など照明機器の近く
 - ④ ホームセキュリティなどのセンサー用赤外線が照射されている領域

- 1) 持出し受光部とコントローラを接続してください。

- ① コントローラの受光部コネクターカバーを外してください。
- ② 持出し受光部のコネクターをモーターコントローラに差し込んでください。



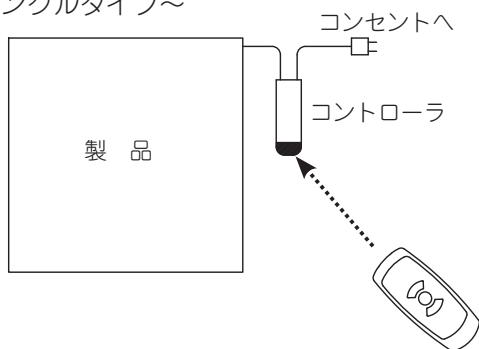
- 2) 持出し受光部を付属のビスで壁面等に固定し、リモコンからの信号があたりやすいように、角度を調整してください。



操作のしかた

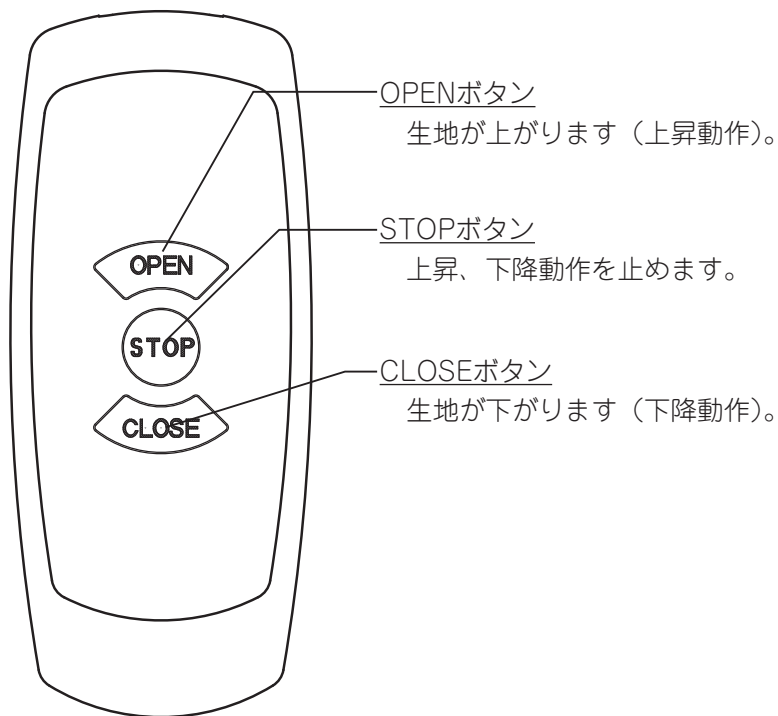
※製品を操作する前に、製品の動く範囲内に動きを妨げるものがないことを必ず確認してください。

～シングルタイプ～



注) 電源プラグをコンセントに差し込んだ直後や停電の後には、生地が巻き上がった状態の場合でも、必ずリモコンのOPENボタンを押してください。

シングルリモコンの操作のしかた



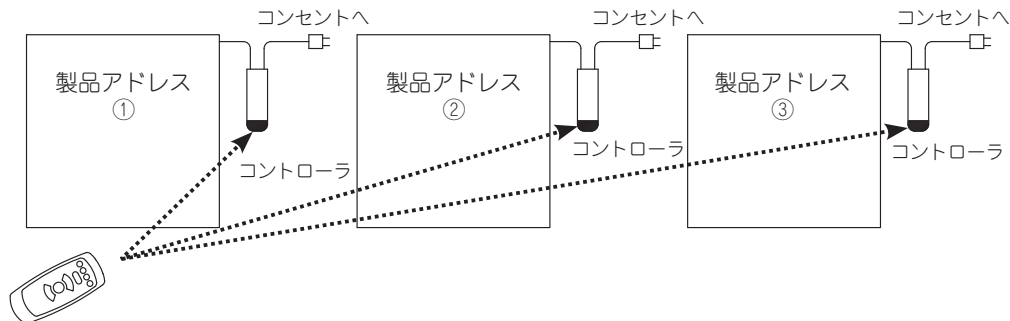
注) リモコンは赤外線での送受信、送受信到達距離は約7m、角度約30度以内となります。

操作のしかた

※製品を操作する前に、製品の動く範囲内に動きを妨げるものがないことを必ず確認してください。

注) 電源プラグをコンセントに差し込んだ直後や停電の後には、生地が巻き上がった状態の場合でも、必ずリモコンのOPENボタンを押してください。

～アドレスタイプ～

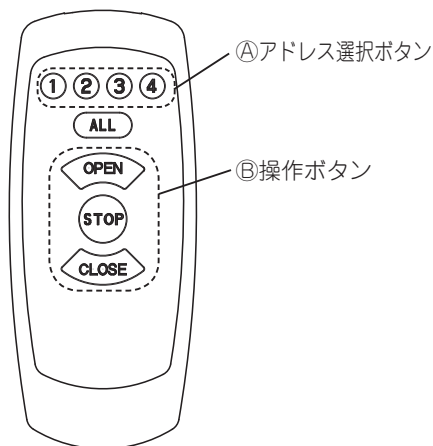


アドレスリモコンの操作のしかた

個別操作

※個別に製品を動かす操作

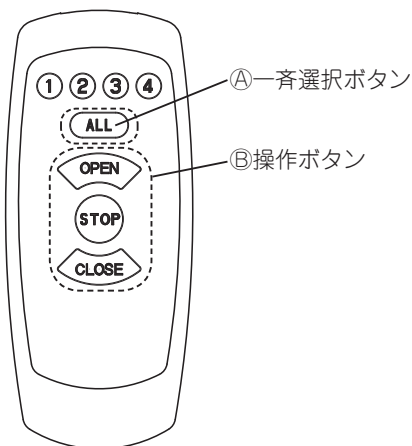
- ・操作したいアドレス選択ボタン (A) を押す
- ↓
- ・操作ボタン (B) を押す



一斉操作

※一斉に製品を動かす操作

- ・一斉選択ボタン (A) を押す
- ↓
- ・操作ボタン (B) を押す



※操作ボタンでの動作は、シングルリモコンと同様となります。

STOPボタンは、個別操作、一斉操作に関係なく、押すとすべての製品が止まります。

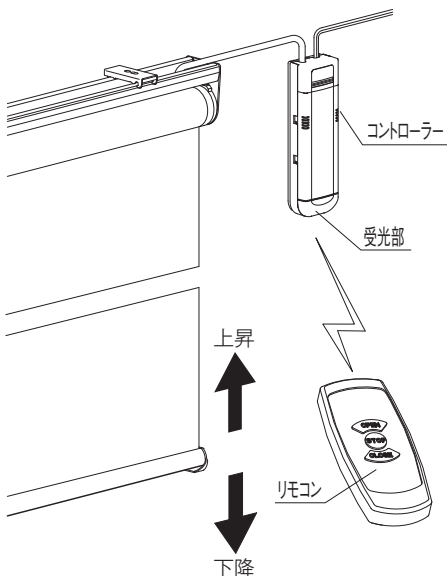
注) リモコンは赤外線での送受信、送受信到達距離は約7m、角度約30度以内となります。一斉操作でも送受信距離および角度が範囲外の場合、製品全台数を一斉に操作できない場合があります。

操作のしかた

調整方法

製品出荷時に、生地の下限位置(生地が最も下まで降ろされた位置)の調整をおこなっていますが、下限位置を変えたい場合は、下記手順にて調整をおこなってください。

※製品を操作する前に、製品の動く範囲内に動きを妨げるものがないことを確認してください。



《シングルタイプ》の場合

- ① リモコンのOPENボタンを押して、上限リミットが作動するまで生地を巻上げます。
- ② リモコンをコントローラに向けて、STOPボタンを長押ししてください(約5秒間)。
- ③ コントローラが点滅[緑色ランプ]します。
- ④ リモコンのOPENボタンを押して、さらに生地を巻き上げてください。
- ⑤ リモコンのCLOSEボタンを押して、生地を降ろしてください。
※生地が下降しない場合は、STOPボタンを長押しし(約5秒間)、コントローラの点滅[緑色ランプ]が消えた状態にして、もう一度①から設定をおこなってください。
- ⑥ 設定する下限位置でリモコンのSTOPボタンを押して、動作を停止させてください。
※製品を操作する前に、製品の動く範囲内に動きを妨げるものがないことを確認してください。
- ⑦ リモコンをコントローラに向けて、STOPボタンを再び長押ししてください(約5秒間)。
- ⑧ コントローラの点滅[緑色ランプ]が消えます。
- ⑨ 下限位置の設定が終了しました。

《アドレスタイプ》の場合

※アドレスタイプの下限設定は、必ず1台ごとに行ってください。

〔注〕同じアドレス番号でグループ設定した製品がある場合は、必ず設定する製品以外の電源プラグをコンセントから抜いた状態で、それぞれ1台ごとに設定するようにしてください。

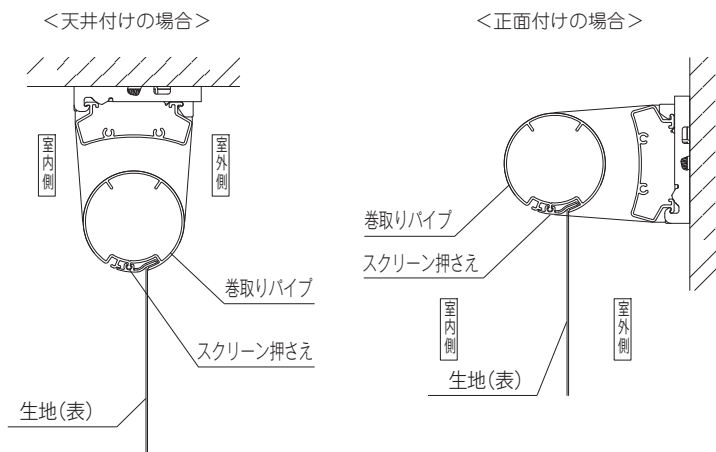
- ① リモコンのアドレス選択ボタンを押した後、OPENボタンを押して、上限リミットが作動するまで生地を巻上げます。
- ② リモコンをコントローラに向けて、アドレス選択ボタンを押した後、STOPボタンを長押ししてください(約5秒間)。
- ③ コントローラが点滅[緑色ランプ]します。
- ④ リモコンのOPENボタンを押して、さらに生地を巻き上げてください。
- ⑤ リモコンのアドレス選択ボタンを押した後、CLOSEボタンを押して、生地を降ろしてください。
※生地が下降しない場合は、STOPボタンを長押しし(約5秒間)、コントローラの点滅[緑色ランプ]が消えた状態にして、もう一度①から設定をおこなってください。
- ⑥ 設定する下限位置でリモコンのSTOPボタンを押して、動作を停止させてください。
※製品を操作する前に、製品の動く範囲内に動きを妨げるものがないことを確認してください。
- ⑦ リモコンをコントローラに向けて、STOPボタンを再び長押ししてください(約5秒間)。
- ⑧ コントローラの点滅[緑色ランプ]が消えます。
- ⑨ 下限位置の設定が終了しました。

お手入れのしかた

- 日頃のお手入れは、羽はたきやハンドモップ等で汚れやほこりを取払ってください。その際、折ったり曲げたりするとシワが付き、痕が残りますのでご注意ください。
- ウォッシュابل生地の場合、ご家庭の洗濯機で洗うことができます。生地の一部が汚れた場合は、部分的に拭取りをせず、丸洗いしてください。

生地の取外しかた

- 1) 生地を降ろします。
- 2) リモコンのCLOSEボタンを押して、下図のような位置にスクリーン押さえがくるよう(アルミパイプが見える状態)に、生地を降ろしてください。
※生地を降ろす範囲に動きを妨げるものがないことを必ず確認してから操作してください。生地が極端に折れ曲がったり、破損する場合があります。
※スクリーン押さえが下図の状態にならない場合は、両手で巻取りパイプをゆっくりとまわして、スクリーン押さえの位置を調整してください。



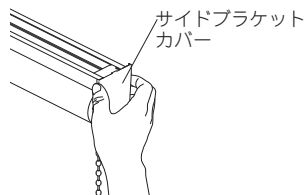
- 3) 製品を取外します。

- ①コンセントから電源プラグを抜いてください。
- ②コントローラから配線コード取外してください。
- ③製品を取外します。(9ページ参照)

※作業しやすい広い場所にロールスクリーンを置いてください。その際、生地が極端に折れた状態にならないように注意してください。2人以上での作業をおすすめします。

お手入れのしかた

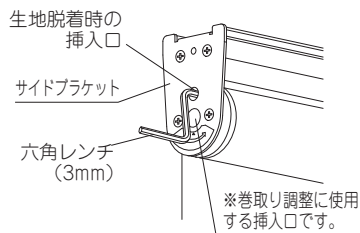
- 4) 製品左側に（駆動ユニットの反対側）あるサイドブラケットカバーを取外します。



- 5) 巻取りパイプを固定します。

サイドブラケット側面の上下にある2つの穴の内、必ず上側の小さい方の挿入口に、製品購入時に付属の六角レンチ（3mm）を挿し込んでください。

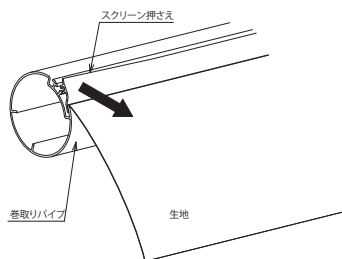
（注）右図のように、六角レンチが最後まで挿し込めない時は、巻取りパイプを少しずらすような感じで前後に回転させながら、挿し込める位置に合わせ、**必ず最後まで挿し込んでください。**このとき、六角レンチが抜けないように、セロテープ等で固定してください。



- 6) 生地を巻取りパイプから取外します。

スクリーン押さえのつばの部分巻取りパイプの端から引っぱると生地ごとはがれます。

（注）このとき、**洗濯後本体に生地をセットするまで六角レンチを絶対に抜かないようにしてください。**万一、途中で六角レンチが抜けてしまうと、巻取りパイプが逆回転し、下限位置のリミットが合わなくなる場合があります。



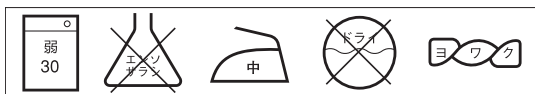
- 7) ウェイトバーを取外します。

生地下部のウェイトバー端部のウェイトバーキャップを外し、ウェイトバーをヨコ方向にスライドさせてウェイトバーを抜き取ってください。

※生地の下部に硬い樹脂板が付いていますが、そのままの状態ですべて洗ってください。

生地の洗濯

- ・生地の洗濯は右記の洗濯絵表示にしたがっておこなってください。



《注意事項》

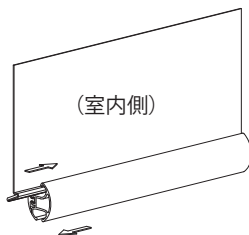
- ・生地の一部が汚れた場合でも、部分的に拭き取りせずに丸洗いしてください。
- ・衣類など他のものと一緒に洗わないでください。
- ・生地はネットに入れたり、強く折りたたんだりすると折りじわが残る可能性があります。自然な状態（ふんわりとした状態等）で洗濯機に入れてください。
- ・漂白剤の使用は避けてください。
- ・乾燥は、物干しなどで陰干しにしてください。乾燥機はご使用いただけません。
- ・しわになりにくい生地を使用していますが、乾燥後にしわが気になるようであれば中温で軽くアイロンをかけてください。

お手入れのしかた

洗濯後の生地本体へのセット方法

1) 生地にウェイトバー、ウェイトバーキャップを挿入します。

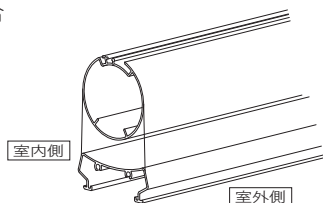
乾燥後の生地にウェイトバーを取付けます。スクリーン押さえの向きに注意しながら、生地を右図のように、ウェイトバーに挿入し、両側のウェイトバーキャップをはめ込みます。



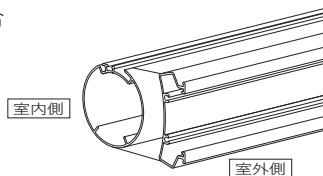
2) 取付け方法を確認します。

- ・製品本体を下図の位置関係になるように室外側が手前にくるように置きます。
- ・生地は表が上になるように置きます。

●天井付けの場合



●正面付けの場合

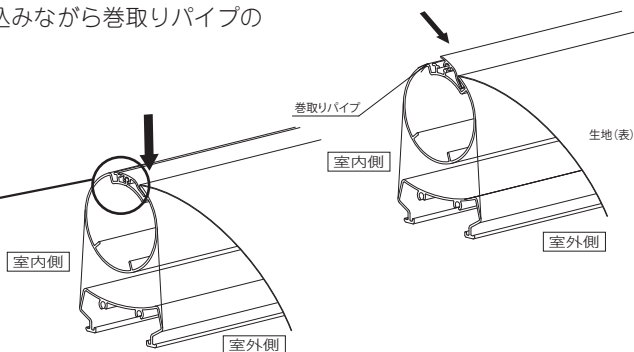
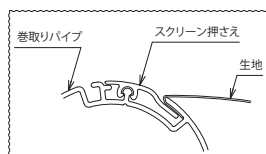
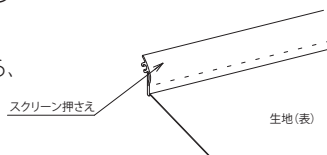


3) スクリーン押さえを巻取りパイプの溝にはめ込みます。

① 生地をスクリーン押さえのところで折り曲げながら、

② 巻取りパイプの溝に右図のように挿し込み、

③ スクリーン押さえを押し込みながら巻取りパイプの溝にはめ込みます。



お手入れのしかた

- 4) 製品本体のサイドブラケット側面に挿し込んでいた六角レンチを抜いてください。
- 5) 製品を元の位置に取付けます。
 - ①製品を取付けます。(9ページ参照)
※製品取付けの際、生地が折れ曲がったり、しわにならないように、2人以上での作業をおすすめします。
 - ②製品右側から出ている配線コードをコントローラと接続します。
 - ③電源プラグをコンセントに差し込みます。
- 6) リモコンのOPENボタンを押して、生地を巻き上げます。
 - ①リモコンのOPENボタンを押して、生地を巻き上げてください。
※生地が途中で停止した場合は、さらにリモコンのOPENボタンを押し、生地を上まで巻き上げてください。
 - ②リモコンのCLOSEボタンを押し、生地を降ろして、下限位置が合っているか確認してください。
※生地を降ろす範囲に動きを妨げるものがないことを必ず確認してから操作してください。

(注) 生地がきれいに巻取らない(巻きずれる)場合は、STOPボタンを押して動作を中止して、製品購入時に付属の巻きずれ調整用シールを記載の説明にしたがって、巻取り調整をおこなってください。

●巻きずれを調整する際は、

- ①15ページ1)、2) の通り、スクリーン押さえが見える(巻取りパイプが露出している)状態にしてから、巻きずれ調整用シールに記載の説明にしたがって、必ず巻取りパイプに貼ってください。
- ②巻きずれ調整用シールを貼り付けたあと、当ページ6)をおこなってください。
※①、②の方法を何度か繰り返して、調整をおこなってください。

故障かな？と思ったら

製品の故障かな？と思ったら、以下の項目をご確認ください。

こんなときは

症 状	原 因	処 置
製品が落ちた。	取付けビスが抜けた。	取付ける面の種類に応じた取付け方で取付けてください。お買上げいただいた販売店にご相談ください。
	製品が確実に固定されていなかった。	この取扱説明書にしたがって取付け直してください。
生地が巻取りパイプにきれいに巻取られない。	取付け面が水平でない。	フレームが水平になるように取付け面を調整してください。
	生地が動く範囲に動きを妨げるものがある。	生地が動く範囲にある障害物等を取除いてください。
	風や空調等が生地に当たっている。	窓を閉めてください。 空調が当たらないように風向きを変えるか、止めてください。
	生地の伸縮等。	製品購入時に付属の巻きずれ調整用シールをシール記載の説明にしたがって取付けてください。
生地の端部がほつれてきた。	生地がサイドブラケット・駆動ユニットに当たっている。	巻取りパイプにきれいに巻取られるように調整した後、ほつれた生地の端部をハサミで切り取ってください。
	生地が何か障害物等に当たっている。	障害物を取除いた後、ほつれた生地の端部をハサミで切り取ってください。
生地脱着の際に、巻取りパイプが逆回転してしまった。	巻取りパイプ回転防止用の六角レンチが、最後まで挿し込まれていなかった。	リミット調整をする必要がありますので、製品をお買上げいただいた販売店にご相談ください。
	生地を取外す前に、巻取りパイプ回転防止用の六角レンチを挿し込まなかった。	
	洗濯後、巻取りパイプに生地を取付ける前に巻取りパイプ回転防止用の六角レンチを抜いてしまった。	
下限まで降りない。	下限位置がずれた。	この取扱説明書にしたがって再度設定してください。
	駆動ユニットの下限設定が合っていない。	お買上げいただいた販売店にご相談ください。

故障かな？と思ったら

製品の故障かな？と思ったら場合は、以下の項目をご確認ください。

こんなときは

症 状		原 因	処 置
製品が動かない。	リモコンのOPEN / CLOSEボタンと製品の上昇／下降動作が合わない。	コントローラディップスイッチの設定が合っていない。	お買上げいただいた販売店にご相談ください。
		製品とコントローラの組合せが合っていない。	この取扱い説明書にしたがって再度取付けなおしてください。
	電源プラグを差し込んでもコントローラ下部または持出し受光部が点滅しない。	電源プラグがコンセントに差し込まれていない。	電源プラグがコンセントに差し込まれているか確認してください。
		コントローラが故障している。	お買上げいただいた販売店にご相談ください。
	リモコンで操作した時に、コントローラ下部または持出し受光部が点滅しない。	リモコンの電源が切れている。	リモコンの電池を交換してください。
		リモコンの電池の向き（＋・－）が逆になっている。	リモコンの電池の向きを正しくなおしてください。
		コントローラの受光部に、直射光や赤外線があたっている。	コントローラ・持出し受光部を暗い場所に移動させてください。
	上記以外の場合	アドレス設定が間違っている。	この取扱説明書にしたがって再度設定してください。
		コネクタの接触が悪い。	各コードを一度外し、再度接続してください。

仕様

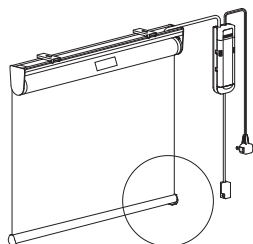
使用電圧	周波数	消費電力	使用温度
AC100V±10%	50 / 60Hz共通	20W	－10℃～ 45℃

メンテナンスシールのみかた

製品には、その製品の生地No.、製品サイズなどがわかるメンテナンスシールを貼付けてあります。修理や部品交換等のお問い合わせの際、このシールに記載されている内容をお手元にご用意いただくと、スムーズに対応することができます。

お問い合わせの前に、あらかじめご確認ください。

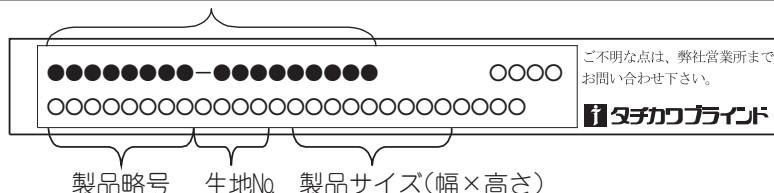
【メンテナンスシール貼付場所】



製品正面から見て
ウエイトバーの右側裏面

【メンテナンスシール記載内容】

お問い合わせの場合は、この●部18桁（「-」ハイフン含む）の番号をご連絡ください。



保証とアフターサービス

<無償修理規定>

取扱説明書に記載通りの正常なご使用状態で、万一故障した場合は、ご購入日より2年間は無償修理をさせていただきます。

※「生地部」の無償保証期間は1年となります。

※次のような場合は保証期間内でも有料となります。

- ・取付け上の誤り、使用上の誤り、不当な修理や改造による故障及び損傷。
- ・天変地異（火災、地震、水害、落雷等）による故障及び損傷。
- ・特殊環境（極度の湿気、薬品のガス、公害、塵埃等）による故障及び損傷。

修理をご依頼になる場合は、お買上げの販売店にお申しつけください。

転居などにより、お買上げいただいた販売店などが不明なときは、弊社支店にお問い合わせください。

尚、製品の仕様は予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

立川ブラインド工業株式会社

本社：〒108-8334 東京都港区三田3丁目1番12号 TEL.03-5484-6100（大代表）
ホームページアドレス <http://www.blind.co.jp/>



2011.7
942715